

令和 3 年度 (2021) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：宇宙素粒子若手の会 第 6 回 秋の研究会 (基礎部門) 英文：YMAP symposium 2021 (Basic Part)
研究代表者	鷲見貴生(国立天文台)
参加研究者	[参加登録順] 小原脩平(東北大), 齊藤亮介(信州大), 吉田風吾(大阪電通大), 近藤萌(ISEE), 西尾瑛司(大阪電通大), 高橋光成(ICRR), 小林志鳳(ICRR), 長澤広武(京大), 森井保次(千葉大), 西脇公祐(ICRR), 大橋健(ISEE), Joshua Ryo Baxter(ICRR), 水越圭太(神戸大), 高橋薫(ICRR), 櫻井駿介(ICRR), 五味明日香(横国), 柏木ゆり(ICRR), 阿部正太郎(ICRR), 今澤 遼(広島大), 樋口諒(ICRR), Gabriel Sousa Diniz(理研), 橋山和明(東大), 川島輝能(ICRR), 金崎奎(神戸大), 糸潤哉(RESCEU), 三木信太郎(ICRR), 永塚穂里(東北大), 大神隆幸(国立天文台), 和田有希(阪大), 竹本康浩(ICRR), 成田佳奈香(東大),
研究成果概要	<p>下記の内容で、研究会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究会 HP：https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2021/index.html ● 日程：2021 年 11 月 5 日~7 日 ● 場所：東京大学柏キャンパス図書館 (オンラインとのハイブリッド形式) ● 参加者：32 名 (現地参加 24 名、オンライン参加 8 名) 修士学生 17 名、博士学生 8 名、ポスドク以上 7 名 <p>コロナ対策のためハイブリッド形式をとったことにより、例年の 1.5 倍ほどの参加者数となった。一方でスケジュールや感染対策の都合により、例年行っていたナビゲータートークや懇親会を実施することができず、” YMAP らしさ” に欠けていたともいえる。特に修士学生の参加が多く、対面式研究会は初参加という人のデビュー戦としての役割を果たすことができた。</p> <p>例年と同じく宇宙線・暗黒物質・ニュートリノ・γ/X 線、重力波など宇宙素粒子の多岐にわたる分野の発表があった。例年は実験系の発表が主だが、今回は理論研究の発表も目立った。また新たに高エネルギー大気物理学のセッション(招待講演含)を設けた。</p> <p>今回特有の試みとして「シンポジウム: ウィズコロナ時代の研究活動」を開催し、コロナ禍前との研究活動の変化や感染者が出た際の対応、研究者間のコミュニケーションやアウトリーチ活動等に関する情報交換を行った。</p>
整理番号	F32